

◆第1委員会室◆

※若者の投票率の向上、日常生活と政治の関わりなどについて活発な意見交換が行われました。



【議員 6名】

座長：大国正博

議員：階戸幸一、太田敦、清水勉、今井光子、川口正志

【高校生 9名】

(県立国際高等学校)大西理文、黒崎珂子、池内美佳、中谷いと

(大和高田市立高田商業高等学校)峯林由芽、安井陽香、西込星来、田中柑名、和田ありさ

<高校生からの感想・意見>

- 選挙に行きたくても、お年寄りに向けた提案が多く、もっと若い人が引き寄せられる提案が必要だと思う。
- 若い人はテレビよりもSNSを見ることが多いため、SNSを活用した選挙活動を広めていくことが、一番若い人の目につきやすいと思う。
- 日常生活の中で感じる不満には、既に県が対応に取り組んでいる事実を知らないから生まれているものもあるのだと思った。高校生議会に参加して県の取組を知る機会になったし、自分たちの意見を聞いていただいて、すごくありがたいと感じた。
- 議員とは運動会や卒業式のときぐらいしか会う機会がなく、遠い存在なのかと思っていただけ、今回お話して、私たちの意見をメモしてくれたり、意見を拾おうとされているのを見て、自分ももっと政治に興味を持ちたいと思った。

<議員からの感想・意見>

- 今回はたくさんの女性が議員として参加していただき、本当に良かった。議会は異なる立場の者が正々堂々と意見を述べあうところなので、もっと大きな声で発言していただいても良かった。
- 議員ももっと高校生の皆さんに声を届けたいと考えている。ぜひ議員のツイッターにどんどんリツイートいただき、アドバイスしていただきたい。
- 世界中に様々な問題が存在するが、国際高等学校ならウクライナとロシアの問題や世界平和の問題、高田商業高等学校なら地産地消の問題や漢方の問題など、皆さんの学校生活の中で問題を追求していただければと思う。
- 政治を自分たちの身近に引きつけることが、政治に関心を持つポイントだと思う。例えば大学の学費に対する心配も、実は1つの政治の問題で、身近な生活の中の問題と政治の関わりを考えて、友達と議論していただければと思う。

◆第2委員会室◆

※政治へのSNSの活用、関心のある政治テーマなどについて活発な意見交換が行われました。



【議員 7名】

座長：奥山博康

議員：岩田国夫、植村佳史、田中惟允、山中益敏、山村幸穂、藤野良次

【高校生 10名】

（県立香芝高等学校）岩川琴音、小笠原優伽、小椋未祐、岡本響、柴田晃太郎

（関西中央高等学校）大熊千晴、美勢勇樹、瀧本夢大、野中綸人、竹田ふうか

<高校生からの感想・意見>

- 参議院選挙で初めて選挙を経験したが、投票することで選挙番組や様々な意見に関心を持てるようになり、視野が広がったと思う。
- SNSを活用して調べ物をすると、自分が調べたいこと以上の答えが返ってくるため、政治についてもSNSを活用すれば、もっと関心を持つことができると思う。
- 政治家がツイッターやティックトックで演説等を配信すると、短い時間で気になるタイトルの動画に触れられるため、議員の考えていることが若者に伝わるのではないかと思う。
- ウクライナ情勢を心配しているが、それが国内の物価高に影響を与え、食文化に触れる機会の減少や年金問題への心配に繋がっていると思う。若者が心配しているテーマを、詳しくわかりやすく説明していくことも良いと思う。

<議員からの感想・意見>

- 小さな事柄も、全て政治に繋がっているということを忘れないでいただきたい。こんなことを言っても仕方がない、などと言わずに、自分の疑問は全て政治に関わるんだと認識して、しっかりと政治に参加して欲しい。すなわち、18歳になったら、ぜひ選挙に行っていただきたいと思う。

◆第3委員会室◆

※若者の投票率向上、選挙の情報発信などについて活発な意見交換が行われました。



【議員 4名】

座長：尾崎充典

議員：樋口清士、亀甲義明、森山賀文

【高校生 10名】

（県立高取国際高等学校）北村まとい、中井優里、藤井美咲、奥田悠夏、堀内七海
（智辯学園奈良カレッジ高等部）大野優花、貝本奈々実、片山莉乙、岡本優実、谷水春香

<高校生からの感想・意見>

- SNSを活用した選挙について、全ての候補者のアカウントを調べるのは大変だから、県や市町村がアカウントを作成して、情報をまとめて発信して欲しい。
- 選挙で投票する人を選ぶことも大切だが、自分が奈良県をどう動かしたいか、政治に関わらず、奈良県をどう盛り上げたいか考える人が増えればいいと思う。
- 高校生議会に参加し、質問をつくる際、自分から調べないと分からないことがたくさんあると気づいた。若者が自分から調べることができるようになれば、選挙にも関心を持つ人が増えると思う。

<議員からの感想・意見>

- 選挙で人を選ぶには、情報に対して受身になるのではなく、自分から情報を取りに行く、勉強することも大切だと思う。もちろんすぐに正解にはたどり着かないけれど、自分の選択を間違わないよう関心を持って、奈良を良くしているのは誰なんだろう、誰なんだという気持ちで、一緒に勉強していきましょう。
- SNSは良い面がある反面、発信者が意図しない形で情報が拡散する面もある。1つの情報の集め方だけに頼らず、対面で反応を確認しながらの会話や、信頼している人からの口コミなど、様々な方法を模索していただきたい。
- 投票という政治参画の方法以外にも、立候補という方法もある。ぜひ議員の活動に興味を持っていただければと思う。